

様式第 2 号（8 関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 5 年度第 1 回ひたちなか市環境審議会	
開 催 日 時	令和 5 年 8 月 23 日（水）10 時 00 分～11 時 00 分	
開 催 場 所	ひたちなか市役所第 3 分庁舎 2 階防災会議室 1, 2	
出 席 者	委員（者）氏名	原口委員，小松崎委員，間瀬委員，黒澤委員，森島委員， 河原委員，高田委員，秋山委員，中村委員，川又委員， 田所委員，高仲委員，小川委員
	担当部課職員職氏名	齋藤経済環境部長 出澤環境政策課長 高橋環境政策課係長（環境政策担当） 江幡環境政策課係長（環境対策担当） 野尻環境政策課主任 菊池環境政策課主事 伊藤下水道課技佐兼係長 大竹下水道課係長 石川下水道課主幹 小林下水道課主任
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	ひたちなか市環境審議会 次第 1 開会 2 議事 審議事項 ・地域再生計画の中間評価について 報告事項 ・第 3 次エコオフィス計画の改定について 3 その他 4 閉会	
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)		
傍 聴 者 の 数	0 名	
会 議 資 料 の 名 称	・ひたちなか市環境審議会委員名簿，事務局名簿 ・令和 5 年度第 1 回ひたちなか市環境審議会 次第 ・ひたちなか市附属機関の設置に関する条例 ・ひたちなか市環境審議会運営規程 ・地域再生計画 ・ひたちなか市第 3 次エコオフィス計画	
会 議 録 の 作 成 方 法	要約方式	
そ の 他		

審議内容（発言者，発言内容，審議経過，決定事項等）	
事務局 小松崎会長	1 開会 2 議事
事務局	審議事項 ・地域再生計画の中間評価について 説明資料に基づき説明を行った。質問や意見，提案等があり，全員一致で了承となった。内容は次のとおり。
原口委員	（質問，意見，提案等） ①公共下水道事業，個別設置型浄化槽整備事業が推進されることにより，地域の環境，河川の汚染度の低減等が見込まれると思うが，どのような形で現在現れているのか，あるいはいつ頃に現れると見込んでいるのか教えていただきたい。
事務局	目標としている河川の透視度を毎月調査しているが，中間値の目標 70.8%に対して 81.3%と大きく目標を上回ることができた。最終年度の目標値は 75%だが，81.3%を可能な限り維持していきたいと考えている。実際に，本計画の事業が河川環境に影響があったかの因果関係を特定するのは難しいが，少なからず多少の寄与はしているのではないかと考える。
小川委員	②ひたちなか市の河川で，早戸川の水質が数年前に国の基準値に対してかなり悪い結果が出た。今回，透視度で評価しているが，BOD等の基準値に対してはどのような状況にあるのか。また，名平洞の水質に関するプロジェクトについて進捗はどのようになっているのか。
事務局	早戸川については，依然として BOD が基準値を超過しており，現在も調査を進めている。採水地点や採水時間によっても数値に変化があり，根気強くデータ収集を行っている。 名平洞の水質環境については，環境部門だけでなく公

	<p>園緑地課や河川課等の他部門と協力し，浄化プロジェクトを行っている。現在は，流入口に柵田を設置し，一度排水を自然浄化させ名平洞に放流し，どの程度効果があるかデータを収集している。</p>
小川委員	<p>名平洞に設置した柵田について現地を確認したが土砂が堆積していた。自然浄化するためには一定の深さが重要となるため，データを収集する中では手を加えながら今後も継続していただきたい。</p>
小松崎会長	<p>③環境教育や環境学習の取組について説明願いたい。</p>
事務局	<p>様々行っているが，一番大きなイベントとしては毎年2月に環境シンポジウムを開催している。市内の小中学生及び環境に関する事業を実施している団体等に，日々の環境活動を報告いただき，市内で自身以外の団体がどのような活動を行っているかを知り，繋がっていくという環境の環を広げていくために実施している。</p>
事務局	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次エコオフィス計画の改定について</li> </ul> <p>説明資料に基づき説明を行った。内容は次のとおり。</p>
原口委員	<p>(質問, 意見, 提案等)</p> <p>①省エネに関して出来ることは限られているので，建替え時の庁舎の高気密化，ZEB化しかないと思う。大学ではZEB化でなければ文科省は認めないくらいの状況であり，今ZEB化をしないと非常に苦しい状況になると思うので予算面もあるかと思うが，前向きに実施してもらいたい。</p>
小川委員	<p>②温室効果ガス排出の要因として，電気の使用が78%とのことだが，その中でも大きく比重を占めているのは冷暖房機器だと思う。市役所には窓ガラスが多いが，</p>

<p>事務局</p>	<p>窓からの熱の流出は7割に達する。熱の流出を抑制するためには断熱シートの効果がとても大きくエネルギー消費量を抑える方法のひとつである。冷暖房機器の効率化について検討してもらいたい。</p> <p>これまでは、ハード面を増改築する際に所管課との関りがなく、広く浅く情報共有していた。今後は資産経営課の公共施設マネジメント部門が新設されたことにより、増改築のタイミング等を情報共有しながら補助金等を案内していく。その他、本エコオフィス計画を改定することにより対象となる起債もあるため、各課へ情報提供していく。</p> <p>また、増改築だけではなく、市販の断熱シート等についても視野を広げながら検討していく。</p> <p>3 その他 本審議会の資料のペーパーレス化により、データをメールにて送付する旨、案内した。</p> <p>4 閉会</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証明する。</p> <p style="text-align: right;">令和5年9月4日</p> <p style="text-align: center;">ひたちなか市環境審議会      会長      小松崎 秀人</p>	